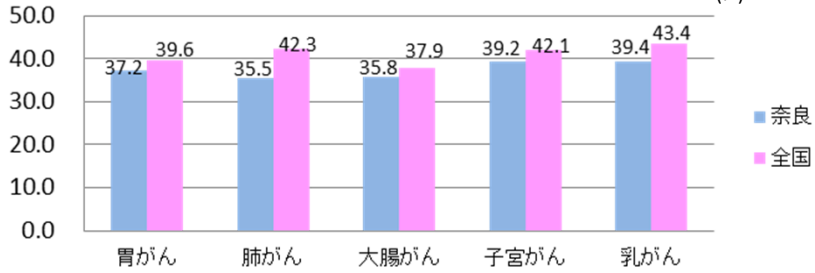


奈良県民のがん検診受診状況にかかる現状と課題

【現状】

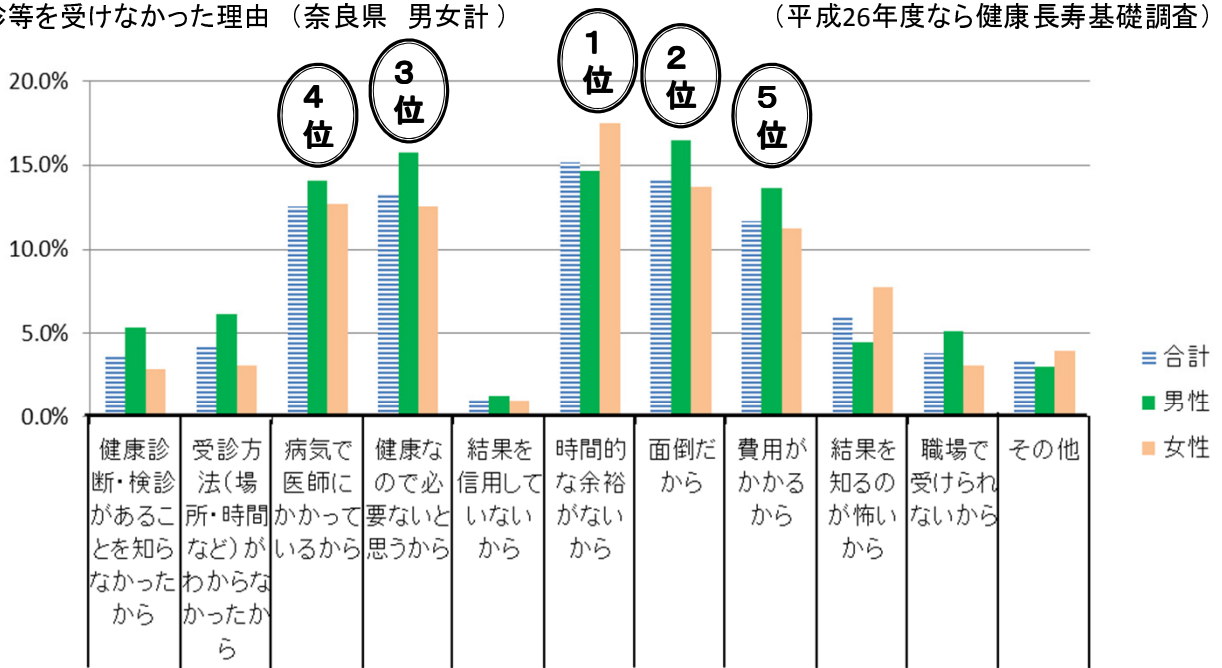
・5がん(胃、肺、大腸、乳、子宮)全てで全国より受診率が低い。(平成25年国民生活基礎調査)

H25がん検診受診率
(市町村・職場でのがん
検診・人間ドックを含む)



・健診等を受けなかった理由 (奈良県 男女計)

(平成26年度なら健康長寿基礎調査)



【課題】

課題区分	推測される課題	県民会議で取り上げるべき課題解決に向けたアプローチ方法	アプローチ番号
時間的余裕	仕事、子育て、介護で検診を受ける時間が割けない	・家庭での子どもの世話や介護の交代等、家庭内での協力によるがん検診受診の促進 ・市町村での託児実施による本人や家庭の負担軽減	1
	検診を受けたいと思う時に検診が実施されていない	・市町村は休日検診、セット検診により住民のニーズに合った検診を提供	2
がんやがん検診に対する意識	日常生活において、がん検診受診の優先度が低い	・がん検診の重要性、早期発見のメリットを訴えた受診勧奨	3
	検診を受ける意味が理解されていない(自覚症状がない、通院しているから安心だから受けない、がんが見つかるのが怖い)	・がん検診の正しい知識、がんの早期発見のメリットの普及	4
	がん検診の検診内容について理解されていない	・がん検診の検査内容、受診のメリット等の効果的な広報	5
費用負担	がん検診全体の費用について効果的な広報がされていない	・検診費の市町村負担金額を明示し、少ない自己負担額で受診できることを広報	6